公・民・学の連携で　まちの未来をともに描く　ともに育てる
くれラボのパートナーとして　このプロジェクトにご参画いただけませんか

呉駅周辺地域総合開発
くれラボ共創パートナー

企業版ふるさと納税によるご支援のご案内

広島県呉市

ご寄附対象事業

えき・まち・みちデザインセンターくれ（愛称：くれラボ）は、呉駅周辺地域総合開発を起点にまちの課題の解決に向けてチャレンジし続ける公・民・学連携組織です。 ※名称及び愛称は検討中です。

呉駅周辺地域総合開発とは

呉駅前が 変わります

市の玄関口・呉駅前では、平成２５年のそごう呉店閉店後、長年にわたり、そのままの状態でした。

その跡地を核に国・民間・呉市が連携し、国のバスタプロジェクトの一環として、まちなか居住とスマートシティの起点となる「呉駅周辺地域総合開発」がいままさに進行中です。

連携による新たな整備手法が話題に

国が既存の駅前広場を交通ターミナル・２階デッキ広場に再整備するとともに、そごう呉店跡地においては、民間事業者が居住、商業、公益機能などを備える複合施設を整備します。

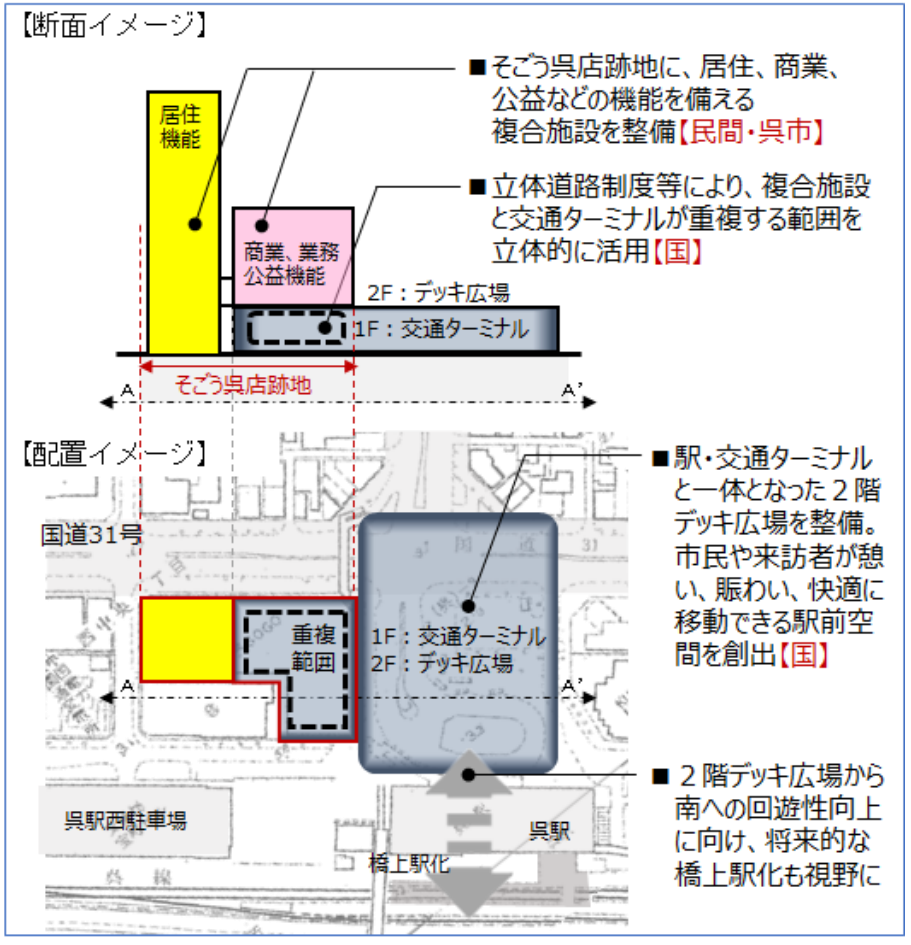
全国的にも例をみない取組として業界専門誌で記事を掲載いただいています。

月刊「運輸と経済」　R5.5月号
（一般財団法人交通経済研究所　発行）



月刊「道路」　R5.6月号
（公益社団法人　日本道路協会発行）





くれラボとは

えき・まち・みちへの想い

くれラボ（えき・まち・みちデザインセンターくれ）は、呉駅を起点に、暮らしと商いがつながるまち、人が行き交うみちをテーマに、現場で「試して」「確かめ」「改善の糸口を探る」実験室です。ここで生まれた試みを、公・民・学がそれぞれの役割で引き継ぎ、次の仕組みへとつなげます。

このチームだからこそできる、チャレンジと創造

呉駅周辺エリアを最初のフィールドに、公・民・学が連携するからこそできる「エリア課題の解決」にチャレンジし続けること、それがくれラボの基本理念です。

【公】行政や公共・公益団体、【民】市民・まちづくり団体・民間企業、【学】創造的・客観的思考と先端知見を担う教育・研究機関――それぞれの強みを結集し、まちの課題を解決する新たなモデルケースの創造を目指します。

参画予定団体

【学】広島大学、呉工業高等専門学校、広島国際大学

【民】五洋建設㈱、㈱増岡組、㈱ＧＡパートナーズ
エクシオグループ㈱中国支店、㈱東急コミュニティー
㈱マクニカ、ひろぎんエリアデザイン㈱、
清水建設㈱、復建調査設計㈱

【公】呉市

くれラボの取組コンセプト

課題の発見　成長し続けていく取組　つむぐ糸口

くれラボの最初の取組テーマは「公共空間のデザインと活用」「先端技術とまちづくりの融合」「復興からの学び」です。
これらの取組は、課題の変容やエリアの成長とともに変化・拡大し続け、相互に作用し合うことで、まちの課題解決と価値向上への糸口をつむぎます。



ご寄附で実現するプロジェクト

くれラボは呉駅交通ターミナルの供用開始（Ｒ９年度 下半期）と併せて始動します。
すでに多くのプロジェクト候補の検討や試行を開始しています。

以下は、現在進行中の検討内容です。より良いものとするため、名称や内容をブラッシュアップしていく場合があります。



広大な２階デッキと複合建物を舞台に

①　暫定デッキ活用「風待ちの庭」

デッキ完成までの期間、人工芝・植栽・ベンチ等で市民の居場所「風待ちの庭」を創出し、駅前のにぎわい空間を育てます。

②　スマートセキュリティ・デッキ

匿名化したセンサーデータで「安心」と「人の流れ」を可視化し、混雑緩和・防災動線・イベント運営に活用する社会実験です。

③　マンション・ラボ

マンションをフィールドに、高齢者支援・子育て・共用部活用など日常の課題を実証しながら、より良い暮らしのヒントを現場で探ります。

④　アーバンデザイン キッチンカー

駅前デッキに毎日立ち寄りたくなる場をつくります。通勤帰り、子どもの帰り道、昼休みのちょっとした寄り道を生み出します。



技術を暮らしに　若者をまちに

⑤　自律走行型ロボットが溶け込む風景

自律走行ロボットをくれラボに迎え、説明案内や体験プログラムなどを通じ、市民とともに使いこなし方を育てていきます。

⑥　くれ・サステナブル・コネクト

全国の学生等が1～2週間滞在しながら地域課題に挑むプログラムです。企業・自治体・大学と現場でつながり、交流人口と将来の呉を担う人材を育てます。





新しい移動体験　寄り道と発見

⑦　次世代モビリティ実証 in 音戸の瀬戸公園

公・民・学の連携で、これまで８回の次世代モビリティ社会実験を重ねてきました。令和８年度は、瀬戸内海を望む音戸の瀬戸公園を舞台に、観光連携と斜面市街地への実装を見据えた実証実験を行います。

⑧　モビリティビジネス研究会

交通だけでなく、先端技術・まちづくり・福祉など、分野を越えた公・民・学の専門家が集い、実証から政策提言・事業共創まで幅広く開かれたプラットフォームです。

⑨　呉まちめぐり手帖

デジタルマップで呉駅周辺の魅力を再発見。街歩きを楽しむための新たな仕組みを導入し、人々の出会いと賑わい、そして消費が自然に生まれるまちづくりにつなげます。

記憶を未来の備えに

⑩　平成30年7月豪雨災害アーカイブ

豪雨災害の写真・映像・証言など数多くのアーカイブを整理してきました。公・民・学の連携で、これらを教材や展示として活かし、記憶を次の世代へつなぐ取組を進めます。

⑪　復興10周年 全国シンポジウム in 呉

平成30年7月の西日本豪雨から、令和10年で10年の節目を迎えます。甚大な被害を受けた呉市だからこそ、この機会に復興の軌跡と教訓を全国へ発信したいと考えています。
全国有数の専門家や現場を知る建設業界の担当者が集い、最前線の経験を率直に語り合う全国シンポジウムを開催します。実務者同士の対話は、教科書には載らないリアルな学びの場となります。あわせて復興の現場を巡るフィールドツアーも実施し、防災・減災の知恵を参加者全員で分かち合います。10年を単なる節目にとどめず、次の災害に備える確かな一歩へ。呉から全国へ、復興の経験をつなげていきます。

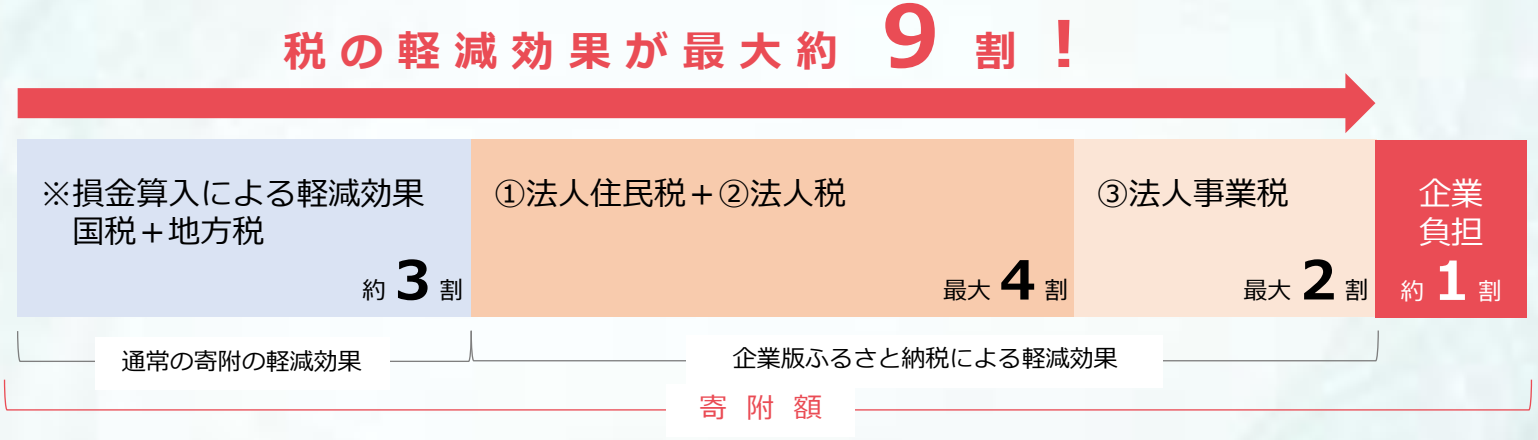


ご寄附の仕組みと流れ

くれラボの取組に寄附をいただいた場合に、
寄附額の最大約９割まで、法人関係税の税額控除を受けることができます。

企業版ふるさと納税の仕組み

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業からご寄附をいただいた場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。
通常の損金算入による軽減効果（寄附額の約３割）と合わせ、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約１割まで圧縮されます。



区分		
	※損金算入	企業が地方公共団体に寄附した場合は、その金額が損金算入されるため、寄附額の約３割（法人実効税率）相当額の税の軽減効果があります。
	①法人住民税	寄附額の４割を税額控除（法人住民税法人税割額の２０%が上限）
	②法人税	法人住民税で４割に達しない場合、その残額を税額控除。 ただし、寄附額の１割を限度（法人税額の５%が上限）
	③法人事業税	寄附額の２割を税額控除。（法人事業税額の２０%が上限）

＜留意事項＞
・１０万円以上の寄附が対象です。
・寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
・本社が所在する地方公共団体への寄附については、本制度の対象となりません。
（呉市内に本社が所在する企業が本市に寄附する場合は対象となりません。）

「現金」・「物納」・「人材派遣」
企業版ふるさと納税制度を活用したご支援をお待ちしています。

現金によるご支援

～　一般的な企業版ふるさと納税　～

現金による企業版ふるさと納税として、広くご寄附を募っています。
いただいたご寄附は「呉市公民学連携推進基金」に積み立て、くれラボの活動財源として大切に活用させていただきます。

呉市公･民･学連携推進基金とは

令和７年３月、呉市議会の議決を経て設立した基金です。くれラボ（アーバンデザインセンターの一つ）を核とした公民学連携の取り組みを支える活動財源を積み立てます。

【条例URL】https://www.city.kure.lg.jp/~reiki/H507901010028/H507901010028.html

人材派遣によるご支援

～　人材派遣型 企業版ふるさと納税　～

貴社の専門人材をくれラボへ派遣いただく形態です。
くれラボのプロジェクトの実現に向け、実務支援、技術指導・メンタリング等を通じて貢献をかたちにします。
一定期間、呉市職員として採用し、人件費相当額を御寄附いただきます。
　常勤タイプ、副業タイプのいずれにも対応します。

派遣条件

【年　齢】２０代前半から３０代前半程度まで
※　それ以上の年齢の場合、本市の給料表に適合しない場合がありますので、別途に協議させてください。
【待　遇】現在の給与水準を基本的に維持します。（常勤タイプの場合）
勤務条件は、ご本人・寄付企業様を交えて相談しながら決めていきます。
まずはお気軽に、**呉市都市部呉駅周辺事業推進室**へお問い合わせください。

物納によるご支援

～　物納型 企業版ふるさと納税　～

設備・機器・備品をくれラボへ直接お届けいただく現物寄附です。
提供いただいた物品は相当額の寄附として扱われ、皆さまのご支援がかたちとなってラボに息づきます。

ご支援いただきたい物品

（例）
・ イベント等でに設置する**ベンチ**、**日よけ**、**植栽**
・ 災害時やイベント時に必要となる**ポータブル電源**や**ソーラーパネル**　など

ご寄附を頂いた企業様へ

くれラボ共創パートナーの皆様からの
ご寄附への熱い想いを、全力で報告させていただきます。

感謝状の贈呈

ご寄附をいただいた全ての企業様に対し、呉市長から感謝状を贈呈させていただきます。また、企業名、企業概要、ご寄附いただいた経緯等を、呉市ホームページでご紹介いたします。

感謝状贈呈式

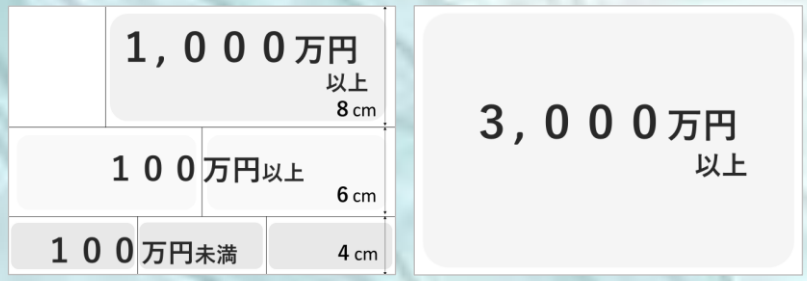
次の区分に応じて感謝状贈呈式を実施いたします。

・贈呈式は累計300万円以上ご寄附の企業様を対象とします。
・累計300万円以上1,000万円未満の場合は呉市都市部長から、
累計1,000万円以上の場合は呉市長から贈呈いたします。

各種パンフレットでのご紹介

取組成果をとりまとめたパンフレットの末尾に、ご寄附いただいた企業様の名称、企業概要、ご寄附いただいた経緯等を掲載させていただきます。
パンフレットは、呉市ホームページやＳＮＳで広く周知いたします。

【掲載イメージ・目安】



紺綬褒章への推薦

1,000万円以上のご寄附をいただいた企業様は、紺綬褒章（公益のために私財を寄附した団体を表彰する制度）の対象となります。
呉市から内閣府に対し、心を込めて推薦手続をさせていただきます。

個別プロジェクトの広報チラシでのご紹介

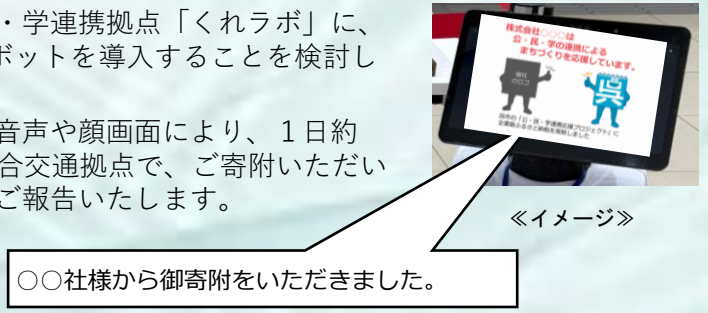
累計１,000万円以上のご寄附をいただいた企業様は、個別プロジェクトの広報チラシで、ご寄附いただいた企業様の名称、企業概要、ご寄附いただいた経緯と実験への応援メッセージを掲載させていただきます。

※プロジェクトについては、３、４ページをご覧ください。

個別プロジェクトのオープニングイベント等でのご紹介
ロボットでのご紹介

累計3,000万円以上のご寄附をいただいた企業様は、
①　プロジェクトのオープニングイベント等にてご挨拶をいただきます。
※会場までの交通費・宿泊費等は企業様の負担となります。

②　呉駅前の公・民・学連携拠点「くれラボ」に、自律走行型案内ロボットを導入することを検討しています。
そのロボットが、音声や顔画面により、１日約30,000人が集まる総合交通拠点で、ご寄附いただいた企業様への感謝をご報告いたします。

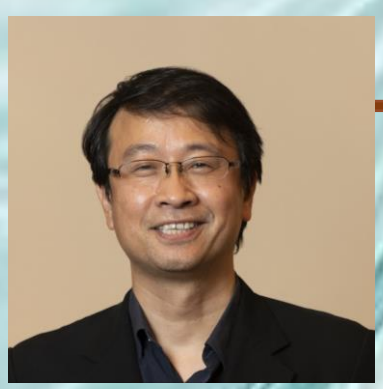


≪イメージ≫

※　寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。
各種ご紹介は、ご寄附への感謝・報告を目的とするもので、広告的な訴求文は含みません。あらかじめ定めた掲載基準に従い、掲載内容を御相談させていただきます。

公・民・学のチカラで 未来を変える
くれラボ共創パートナー

くれラボを支える先生方のひとこと



東京大学大学院　羽藤　英二教授

令和９年度の呉駅交通ターミナルの一部供用開始により，呉の玄関口は大きく生まれ変わります。「くれラボ」のチャレンジはふるさと呉の未来を切り拓き、社会問題解決のための砦になることを期待しています。
新たな呉のまちづくりへ多くの企業の皆様のご参画を心よりお待ちしております。

呉工業高等専門学校　神田 佑亮教授

呉の街は、海やものづくりの歴史だけでなく、このまちをもっと良くしたいと行動する人たちがいます。呉駅交通ターミナルの供用スタートをきっかけに、「くれラボ」を通じて人と人、想いと挑戦をつなぎ、次の世代がワクワクできる呉をつくっていきたいと思います。ぜひ、呉の新しい挑戦の応援をよろしくお願いします。



公・民・学のチカラで 未来を変える
くれラボ共創パートナー

寄附のお申し込みはこちら

呉市 都市部 呉駅周辺事業推進室
〒737-8501　広島県呉市中央４丁目１番６号
☎ 0823-25-3558
✉ kureeki@city.kure.lg.jp